

社会福祉法人つるかわ学園 町田通勤寮

〒194-0045

東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042 (739) 0491

巻頭言

今年もよろしくお願いいたします

寮長 三階 広明

いよいよ、2020オリンピック・パラリンピックの年が明けました。昨年のラグビーワールドカップでの熱気が続いたまま、改めてスポーツに注目が集まっています。「ブームから文化へ」と語ったラグビー選手の言葉が、日本のスポーツに対する現在地を表しているようで、心に残ります。「文化」とは、ある社会の成員が共有している行動様式や物質的側面を含めた生活様式をさすこと。とあります。

障害の有無にかかわらず生きていく「共生社会」を目指す取り組みが進められています。「多様性が認められる社会」、「障害とは個人的状況ではなく社会的障壁が障害を生んでいる。」という『社会モデル』という考え方が唱えられています。障害当事者ではなく、社会の側が意識を変えて「共生社会」を作っていくという考え方です。障害者福祉の現場に働くものとして、心に刻んで仕事に取り組みたいと思います。

もう一つスポーツの話題から。

今年の「箱根駅伝」はこれまでにないスピードレースとなり、選手の履く「ピンクの靴」が話題となりました。あるメーカーが作ったこれまでの常識を覆す「厚底靴」です。これまで競技用の靴は「裸足」に近い「薄型」が主流でした。(これは、軽量化の流れとも一致しますし、足袋の文化がある日本では足袋に近いイメージの靴が目標となっていたようです。そういえば私も小学校の運動会では「運動会用の足袋」で走っていたのを覚えています。)

今回の結果を受けて、この靴の使用を禁止するかの論議があるそうです。以前競泳水着の開発が進んでスピードが大幅に上がった際には、使用が禁止されたことがあります。今回もこれと同じ経過をたどるのでしょうか。「勝利」を求める人間の性なんでしょうか。用具の開発競争はとどまるどころを知りません。これに対して「不公平」という声が高まると、是正が図られるという事の繰り返しです。「道具」の発達は「格差の拡大」を生んでいるとも言われます。難しい課題です。

皆様へお願い

主任支援員 武智 里峰

あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

現在町田通勤寮は、男性14名、女性6名、計20名です。定員は男性20名、女性10名、計30名、約半数の定員割れとなっております。

各関係機関（支援学校、地域支援センター、就労支援センター、職員各研修等）にお声を掛けているものの、中々、定員に満たないのが現状です。

他通勤寮は…と申しますと、どこも満床、しかも空きを待っている状態との事です。

葛飾・大田・江東は建て直してホテルのような寮に生まれ代わり、もちろん個室。立川通勤寮は、建て直しはしていないものの、居室をリフォームした事で半個室化になりました。

町田通勤寮も何もしていない訳ではなく、試行錯誤しています。建て直しは無理としても、せめて最低限のプライベートを確保できないものか？現在も検討中です。

この記事をお読みになり、もし、通勤寮の話が出ましたら、『町田通勤寮、空いているみたいですよお…』とお声を掛けていただけると幸いです。皆様、どうぞ、宜しくお願い致します。

スピーチフォーラム

支援員 入江 就仁

始めにスピーチフォーラムの話について、毎年11月に開催されている大集会のような催事ですが、寮で生活されている利用者の方が主張できる場がなかったという所から始まったのが、このイベントです。

今年度も令和元年11月9・10日に千葉・鴨川で開催され、町田通勤寮も7名の利用者さんが参加しました。例年ですと、全体会の後に分科会に分かれて、それぞれの項目(仕事・趣味・将来など)について意見交換し、自分たちの思いを広げていくという内容になっていますが、今年度はより「利用者主体」というテーマの下、全体会の後にアイスブレイク(名刺交換)を取り入れ、交流を深めた後の分科会という流れとなりました。

アイスブレイクを取り入れることで利用者同士の顔と顔が繋がります。

「〇〇の仕事をしています」と自己紹介し、交流している場面がとても良い効果に繋がっていると感じました。

分科会では仕事・恋愛・生活・趣味・将来の〇項目で設定され、それぞれ各々の分科会に参加し、他通勤寮の方と交流、意見を出し合いました。記述者は「恋愛」の方に参加し、利用者さんのフォローに当たりましたが、恋愛について今までの体験談や交際してきた時の様子・失敗・成功体験等を各々話し、語っても語りつくせない程、意見が出され、とても良い分科会となりました。

分科会の後は利用者さんが楽しみにしていた懇親会！豪華な懐石料理が振る舞われ、舌鼓を打ち、アルコールを入れながら和やかな雰囲気で行われました。会の後半では分科会ごとに出し物を決め、披露するのですが、中でも話題のパプリカという曲に合わせて、利用者さん・職員含めて踊りながら交流する場面は今年のスピーチフォーラムを象徴する楽しい一面でした。

スピーチフォーラムは利用者主体であり、利用者さんの為の大集会です。こういう場の設定は貴重であり、我々が主張することと同じように利用者さんも自分たちの意見を話し、主張できる、そしてそれを学びとし、今後の生活に活かしていける、そういう風土がこれからも続くことが大切であり、必要なのではないかと思います。

忘年会(ボウリング大会&東林バーベキュー)

支援員 浅田 恵理子

12月14日(土) 「忘年会を通して利用者同士の交流を深め、1年の苦勞を忘れて新しい年を迎えられるように楽しむ」という目的で今年最後の行事の忘年会を開催しました。

ラウンドワン町田にて、18時より自治会の初めの挨拶で開始。

8レーンに分かれ、1チーム3名〜4名で2ゲーム行いました。

チーム、静かに淡々と投げるチームとありましたが、怪我することなく終了し、東林バーベキューの送迎車に乗り込み東林バーベキューへ。

20時より東林バーベキューで自治会メンバーの乾杯の音頭で夕食開始。網焼きメニューですが、お肉・海鮮・サラダ・カレー・ラーメン・揚げ物・デザート・ドリンク等と豊富なメニューが揃い食べ放題ですが、協力し合って取りに行く人、焼く人、分からない人にはやり方を教えるなど協力的な姿が見られました。ある程度時間が経過したところで、ボウリングの順位発表を行い、男性個人2名、女性個人1名、チーム優勝とそれぞれ寮長より記念品が贈られました。

ちなみに…職員では断トツ寮長がいつも高得点です！

普段はあまり接しない方同士でも行事を通して協力し合い、励まし合う姿を見る事が出来、改めて行事の良さ、大切さを感じることができました。



夕食、焼肉です😊



ラウンドワンにて
ストライク？

生活・教養講座（身だしなみ講座）

支援員 小林 美樹

12月16日に洋服の青山・町田ままともプラザ店、店長の作井様をお招きして

『身だしなみ講座』を開催いたしました。

当日は利用者さん全員がスーツ着用で出席しました。

作井様からは、まず最初に「第一印象が大事」とのことから、自分の身体に合ったスーツを選ぶお話をしていただきました。きちんと身体に合ったスーツを着ているとのこと、男性利用者さん1名が指名され前に出て、肩幅、袖丈、着丈などの説明をお聞きしました。次はネクタイの結び方です。普段ネクタイを締めない方が多く手こずる利用者さんが多かったです。その後は、ネクタイの色・柄選び、コート選び、ビジネスバッグにはリュック式よりも手提げ式が良い事等基本的な事を教えていただきました。女性利用者さんに向けても同様に身体に合ったスーツを選ぶの説明が有りました。

最後に質疑応答と、自治会役員より御礼の挨拶で終了と成りました。

洋服の青山は企業の一事業として面接時の身だしなみ指導として大学・高校へ出張して講座を開催されているそうです。利用者さんへ解り易い言葉でゆつくりと説明していただき有意義な講座でした。

地域支援セミナー

支援員 石田 順子

11月20（水）・21（木）の2日間、日本知的障害者福祉協会、地域支援部会主催の地域支援セミナーに参加させて頂きました。テーマは「目指せ 令和の共生社会を」でした。措置制度から契約制度になり、障害福祉サービスの充実が図られると共に障害のある方の地域生活を支えるサービスの選択肢も豊富に用意されるようになりました。

1989年（平成元年）に働く障害者の住まいとして創設された障害者グループホームは、30年以上が経過し全国で10万人を超える人たちが利用しています。さらに、どんな思い障がいの人でも高齢の人でも利用できるよう、日中サービス支援型グループホーム創設や居宅支援充実が図られています。

1日目は冬季パラリンピック金メダリストの大日方邦子氏に「誰もが参加可能な共生社会の実現」をテーマに、また他講師の方からは、障害者の地域生活を支える取り組みを、共生社会の実現に向けた方法を模索し、考え考えを深めるご講演をいただきました。

2日目は「地域支援の連携の在り方と今後の方向性を考える」をテーマに、基調報告とシンポジウムの中で、障害のある方が住み慣れた地域社会で安心して暮らし続けるためには、様々な社会資源を活用し、様々な機関が連携を図り、切れ目のない支援を提供する事が必要という事を学びました。

2日間でしたが、日々の業務から切り離され、多角的に物事を考える良い時間になりました。

調理実習

調理員 高橋 典子

12月8日に調理実習を行いました。調理前の身支度も回を重ねるごとに手際良くなり

すぐに調理にとりかれました。今回は、2名の参加で、「寒い冬を乗り切る 体が温まる 料理」と題してカレー鍋、トマトと葱の冷奴、フルーチェドームケーキの♡品を作りました。カレー鍋の材料の野菜にかなり土が付いていましたが、丁寧に洗う事が出来、上手に包丁も使っていました。デザートは、利用者さんのリクエストにおこたえしました。

ホイップを使ったケーキのデコレーションの仕方もすぐにマスター出来ました。作っている時も楽しそうにニコニコ笑顔で、上手に仕上がりました。カレー鍋は、汁一滴も残さず美味しい美味しいと言って完食しました。次回の調理実習は、2月23日に「栄養をつけて風邪を吹き飛ばそう。」と題して、行う予定です。皆様のご参加お待ちしております。



鍋の♡はそばでした😊

今後の主な予定

1月30日(木) 地域講座

2月8日(日) 防災講座

2月9日(日) オンブズマン活動

2月29日(土) 第3者評価訪問調査

3月8日(日) 保護者会

◆町田通勤寮だよりのバックナンバーはつるかわ学園公式HPよりご覧になれます。